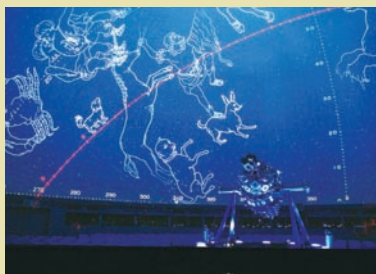


星空に旅する異空間

少年科学館プラネタリウム



高崎市少年科学館
高崎市末広町 23-1
TEL.027-321-0323
開館時間：9:00～17:00
休館日：月曜・年末年始
観覧料：一般 310円
小・中学生 150円
<http://www.t-kagakukan.or.jp>

高崎発のエンターテインメント

●心ときめいたプラネタリウム

昭和44年（1969）7月、アメリカのアポロ11号が初めて月面着陸に成功した時、21世紀は誰でも宇宙旅行に行けるようになっていいると思えた。東京の渋谷駅前、旧東急文化会館の中に「天文学博物館・五島プラネタリウム」があつて、親に連れられて出かけ、ドームの中に映し出される宇宙に興奮し、心がときめいたものだ。

大人になると星にときめく心も忘れて。プラネタリウムに行きたいなどと考えもしなくなった。

●宇宙にいるような不思議な場所

いつしか自分も親の立場となり、子どもたちをプラネタリウムへ連れて行った。高崎市少年科学館のプラネタリウムだ。

館内の照明が消えると、全く光のない怖いほどの闇。そして投影が始まり、高崎の空が360度の大きな円空ドームに映し出される。数え切れないほどの星。空にはこんなに星があつたのだ。自分が宙に浮いているようで、重力も感じない。宇宙に放り込まれたような感覚になる。幻想的な異空間

の中に意識が吸い込まれていく。

どうしたことが涙があふれてきた。

それは、映された満天の星の力なのか、子どもの頃の記憶が呼び覚まされているのか、いいしれない感動に包まれた。以来、子どもそっこの疑心宇宙の魔法にかり、時折「プラネタリウムに行きたい」という衝動にかられる。いい大人が一人で少年科学館へと足を運ぶようになった。

●大人にこそ楽しんでほしい 星空ロマン

末広町の交差点から高崎市文化会館の方を見ると大きな銀色のドームが見え、文化会館のロビーから2階の少年科学館プラネタリウムへつながっている。高崎にもプラネタリウムがあることは知られているだろう。

都市の中で宇宙を満喫できる少年科学館のプラネタリウム。「少年科学館」なので子ども向けと思われているかもしれないが、このプラネタリウムは、大人も楽しめる。というより、むしろ大人にこそ楽しんでほしい場所、少年の心が忘れられない大人たちの隠れ家である。

このプラネタリウムをあなどってはいけない。21mのドーム径と315席のプラネタリウムは国内でも大型と言

え、開館当時は国内トップクラスの設備。1万2千もの星が映し出される。ゆったりとしたリクライニングシートで眺める星空は、極上のヒーリング空間である。

●高崎オリジナルの感動作

投影している作品の多くは、この高崎市少年科学館プラネタリウムが企画・製作したもので、宮沢賢治の童話でファンタジーの世界に誘ってくれたり、ほろりと涙を誘う感動の物語もある。テーマパークのアトラクションのように、コンピュータグラフィックと音楽を駆使し、時空を超えた壮大なSFドラマに引き込んでくれたりする。とても完成度の高い高崎発のエンターテインメント作品なのだ。小惑星探査機「はやぶさ」が帰還した時は、高崎近郊に開発に携わった企業もあり、力を込めた感動作品が作られた。

もちろん天文の話もちりばめられているのだが、おしつけがましくないのが良い。高崎のプラネタリウムには、ツボを得た星空職人がいるようだ。クリスマス時期には星空コンサートが毎年行われている。デートにもおすすめだ。美しい星空が二人をロマンチックに包み込んでくれるだろう。

